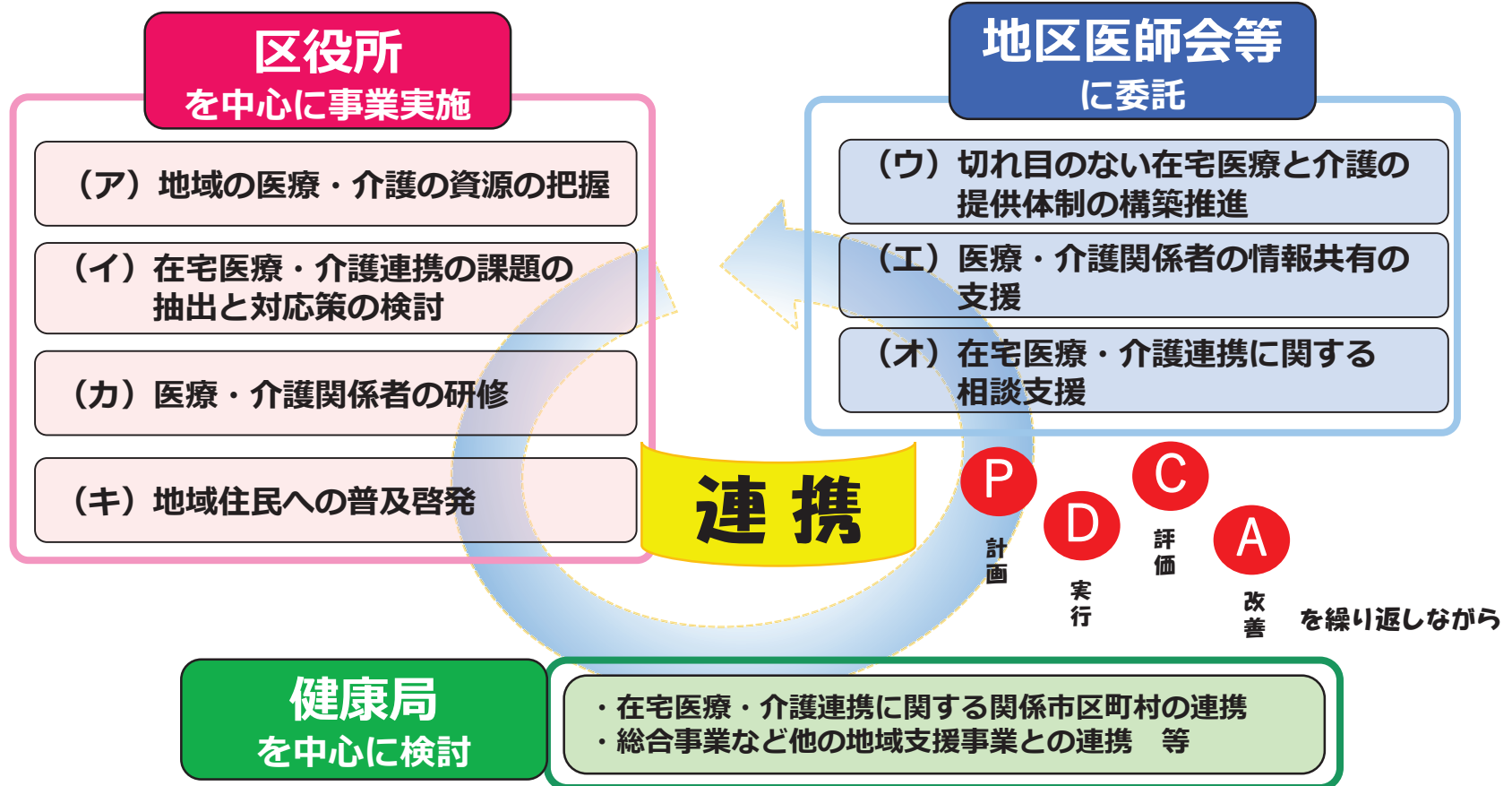


# 令和 2 年度 区役所・相談支援室の 取組みについて

# 在宅医療・介護連携推進事業～大阪市の取組み～

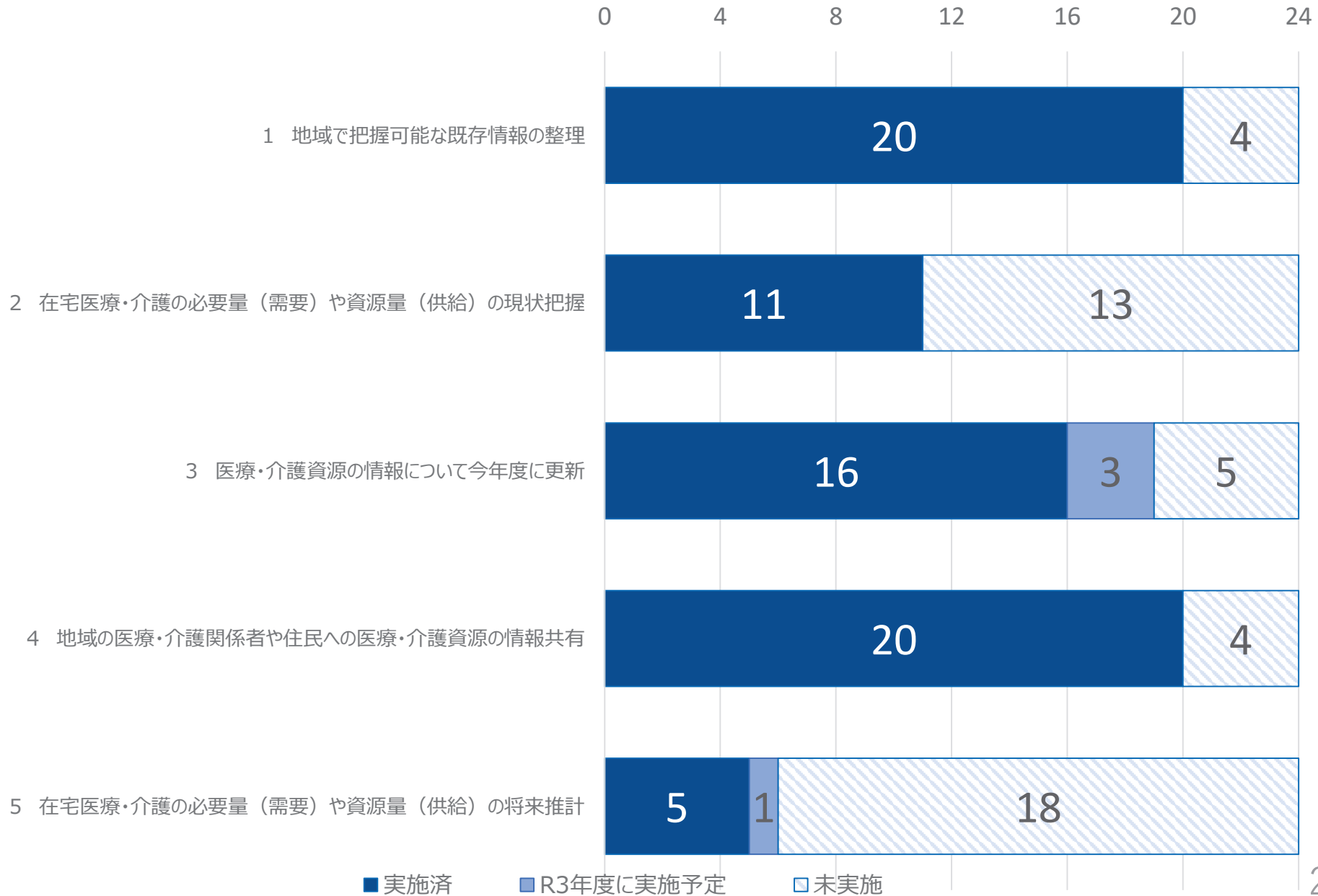
## 在宅医療・介護連携推進事業大阪市の取組み体制

～ 「PDCAサイクルに沿った取組項目」 ～



# (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

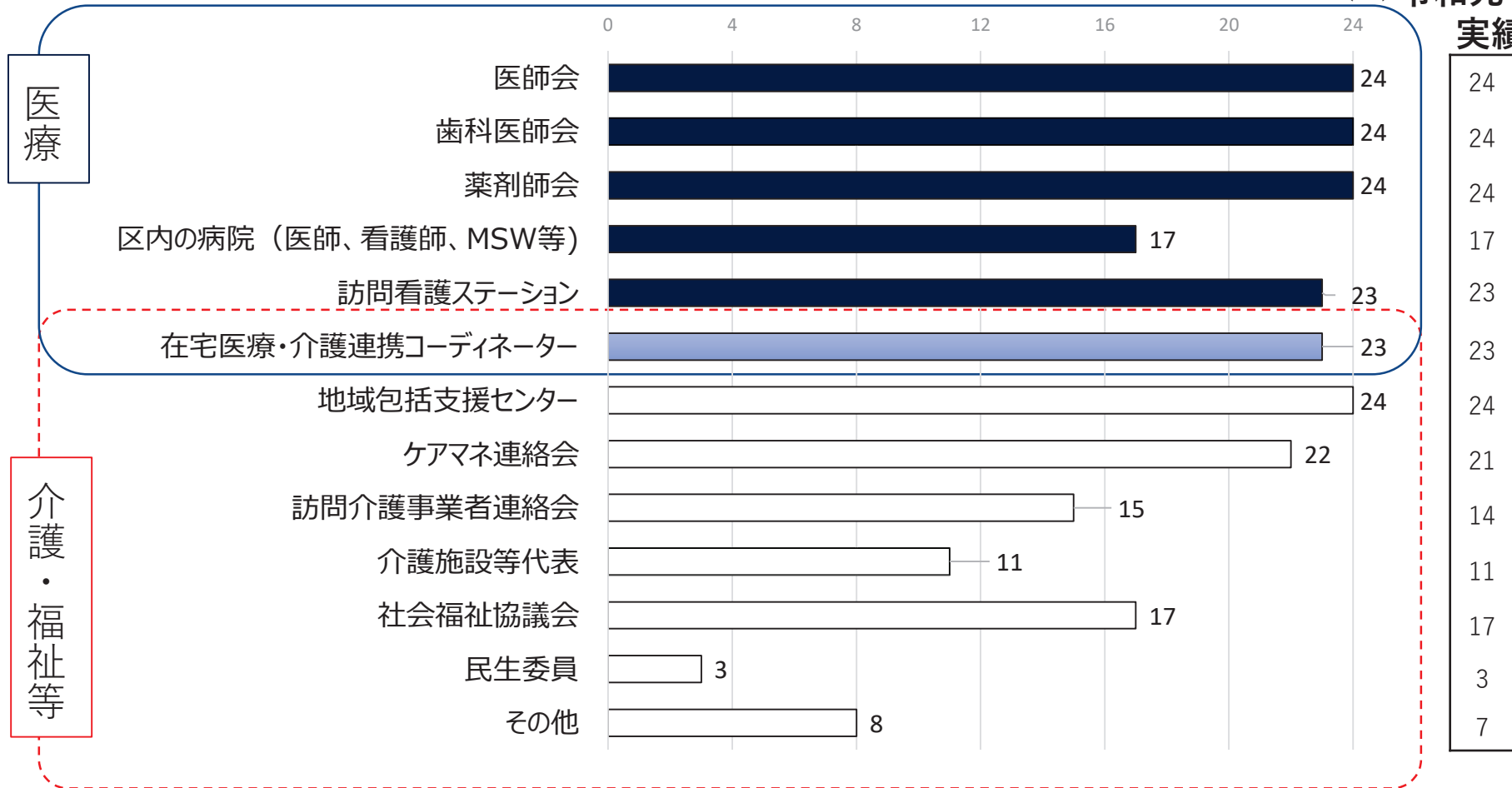
(区)



# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その1

各区在宅医療・介護連携推進会議 医療介護関係者の参加状況（部会等除く）

(区) 令和元年度  
実績

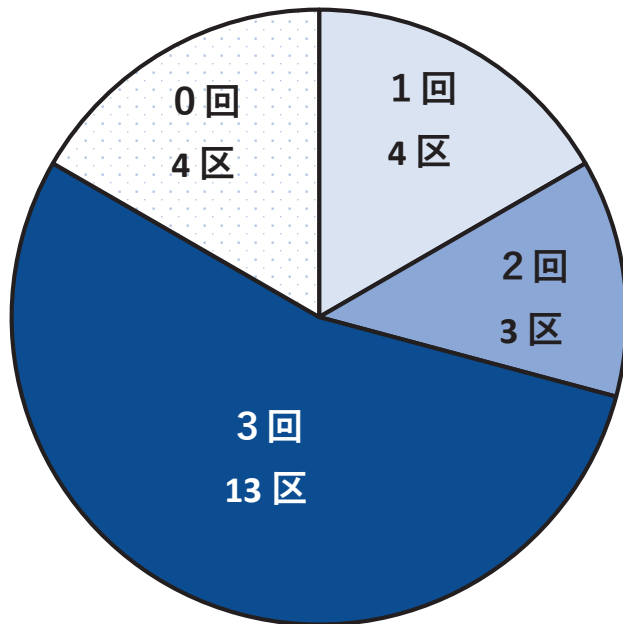


その他：5区で8機関が参画。

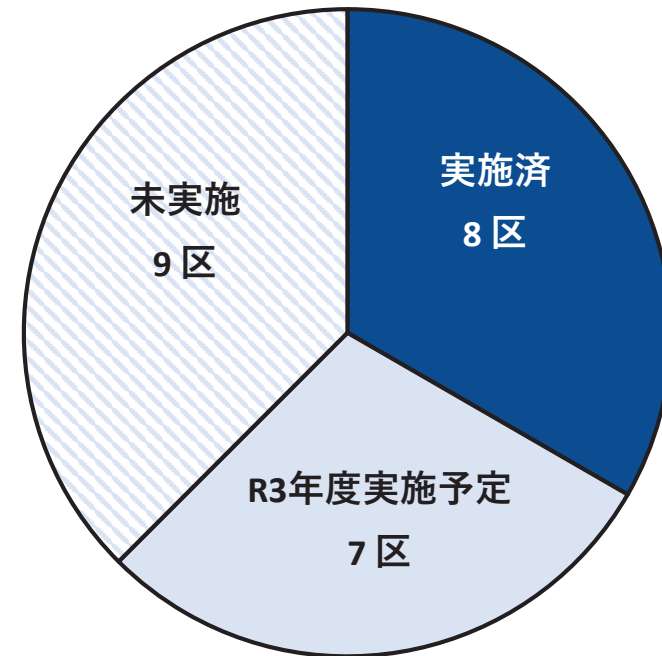
地域リハビリテーション事業所連絡会、通所介護事業者連絡会、地域自立支援協議会、地域福祉活動サポーター等

## (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その2

事業の進捗や課題について協議した回数



オンラインを活用した会議の開催状況



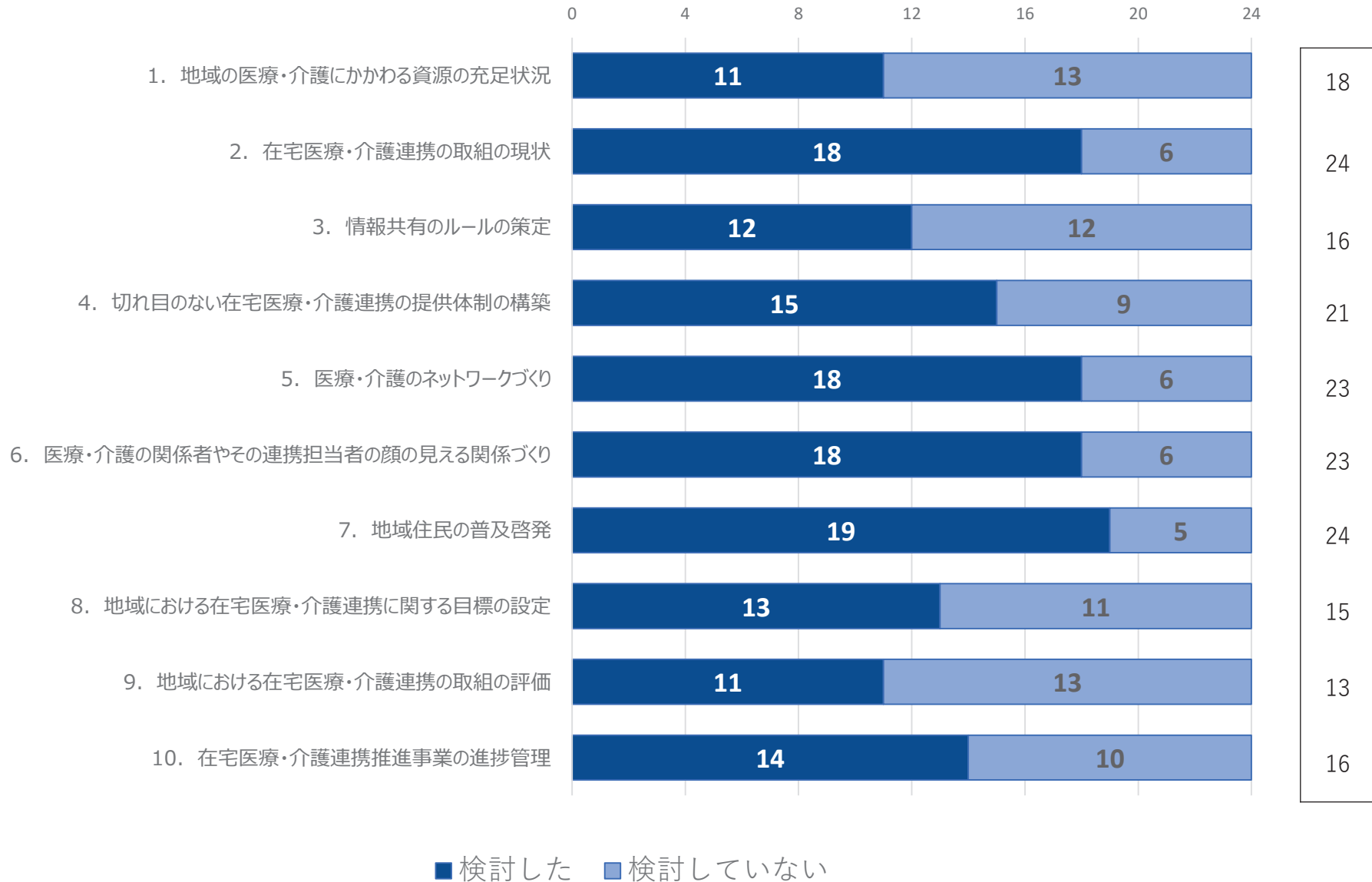
### 【オンラインを活用した会議が開催できなかった理由】

- ・議事の円滑な進行、集中した議論には、短時間でも参集型にする必要がある
- ・共通の利用環境が整っていないため
- ・開催のためのノウハウがない
- ・必要な機材や方法も分かっていない

# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その3

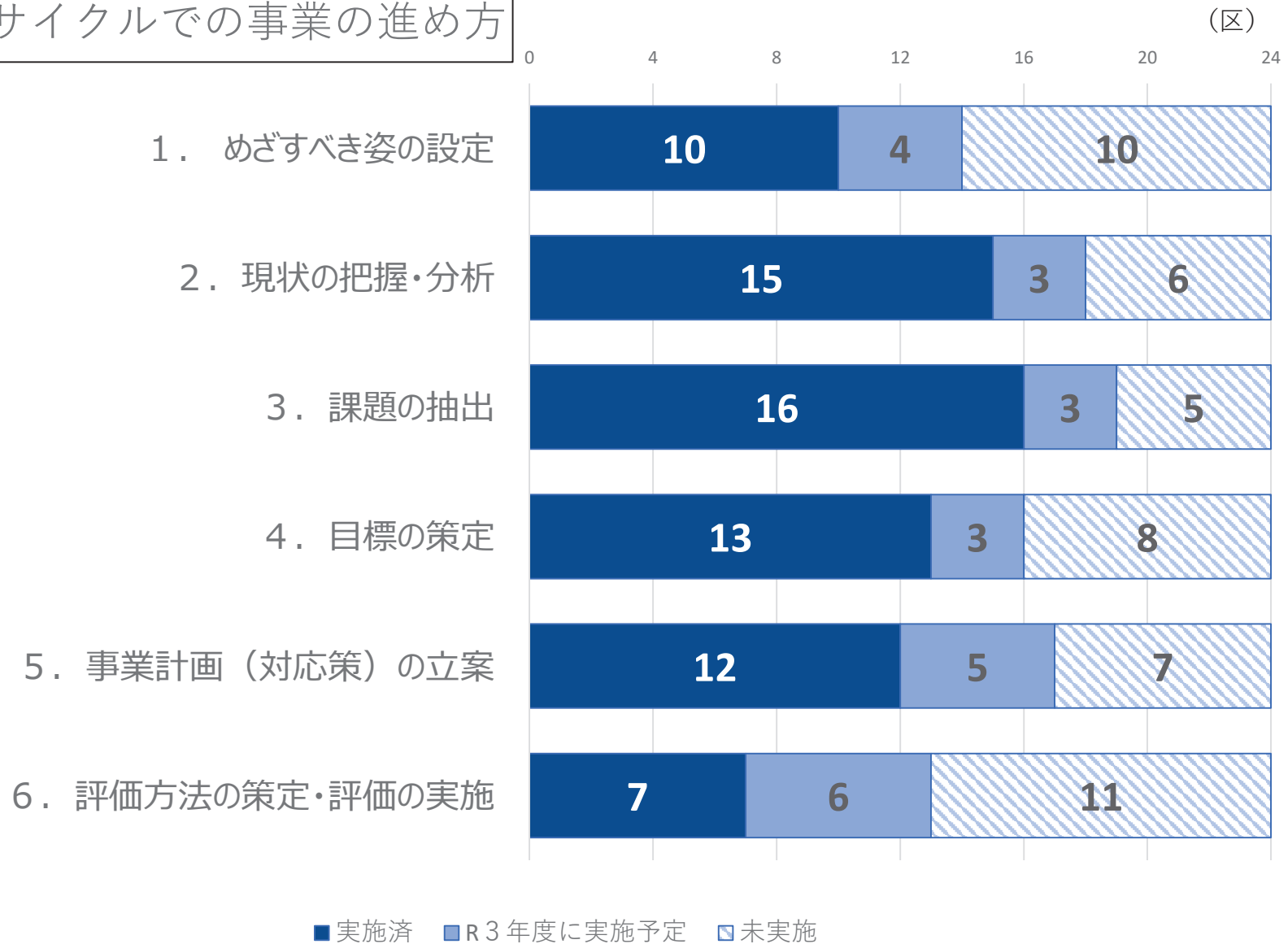
推進会議（ワーキング含む）で検討した内容

令和元年度  
(区) 検討済



# (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 その4

PDCAサイクルでの事業の進め方



未実施の区に対して個別支援を実施 → 詳細は資料3にて報告

めざすべき姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムが構築される</li> <li>・医療と介護の両方を必要とする状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる</li> <li>・切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を目標とし、区の地域包括ケアシステムの推進事業を通じ、誰もが健やかに自分らしく安心して暮らし続けられる区を目指す</li> <li>・住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを可能な限り続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を推進</li> </ul>
--------	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療・介護にかかわる資源の充足状況についての把握</li> <li>・支援者間のつながりが希薄、情報不足、連携不足</li> <li>・多職種間の相互理解や情報共有</li> <li>・病院医師と訪問看護師、ケアマネジャー等との連携</li> <li>・非常事態下（コロナ禍・災害時）における多職種連携の継続</li> <li>・意思決定支援（人生会議（ACP）の検討など）</li> <li>・連携がスムーズに行えるようにICTシステムに参画する医療介護の機関を増やす</li> <li>・隣接区など広域にわたる医療介護関係機関との連携が必要</li> </ul>
----	--

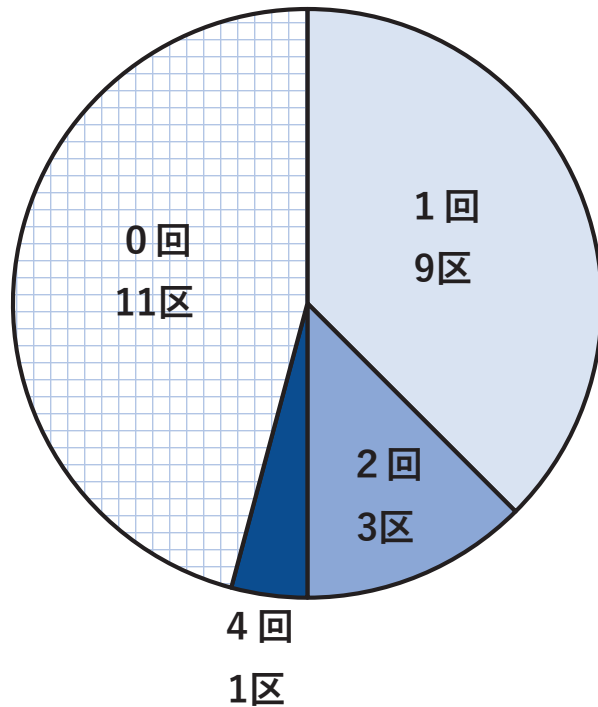


## 対応策

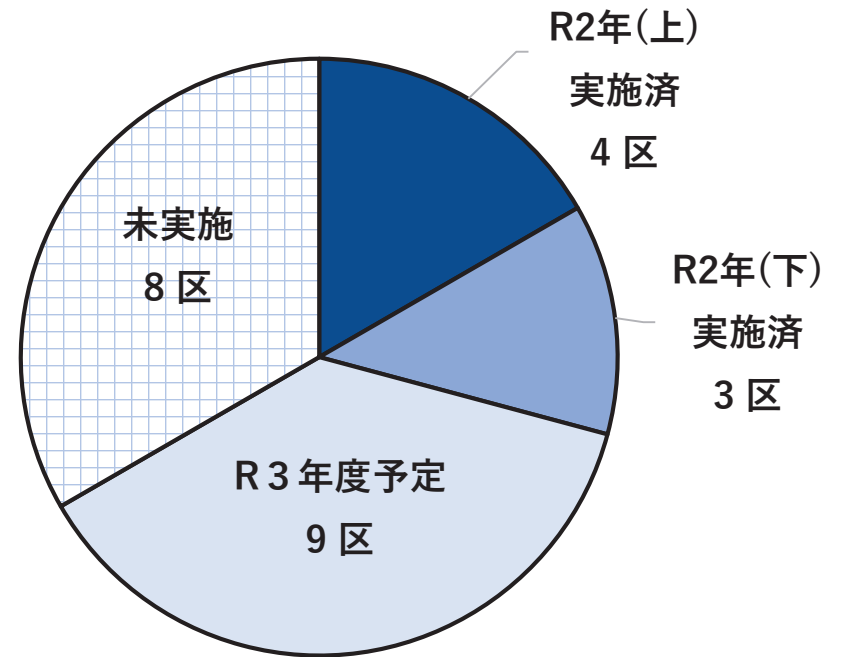
- ・多職種連携研修会での顔の見える関係づくり
- ・連携強化、情報共有を目的に事例検討会などの勉強会を開催
- ・医療介護者向けの啓発（研修会やグループワーク等）
- ・医療介護連携研修会及び多職種交流研修会の実施
- ・各団体、組織の開催する研修のバックアップ
- ・オンラインでの講演会の開催
- ・在宅療養者の生活支援のため、関連する医療関係者と介護関係者の連携を図る連携シートの活用状況のアンケート調査
- ・連携シートの利用促進
- ・情報発信ツールの活用
- ・スマホや動画配信の活用
- ・エンディングノートを活用した普及啓発
- ・区の広報紙・ホームページ、チラシ、回覧板などの活用等を活用し、区民への広報周知の促進
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、関係機関が参集が困難な中、オンラインを活用した会議の開催

## (カ) 医療・介護関係者の研修 対応策の実施

研修会の実施回数



オンラインを活用した研修会の開催



R2年度上半期にはオンラインを活用した研修会の開催は4区であったが、年間を通じて7区となった

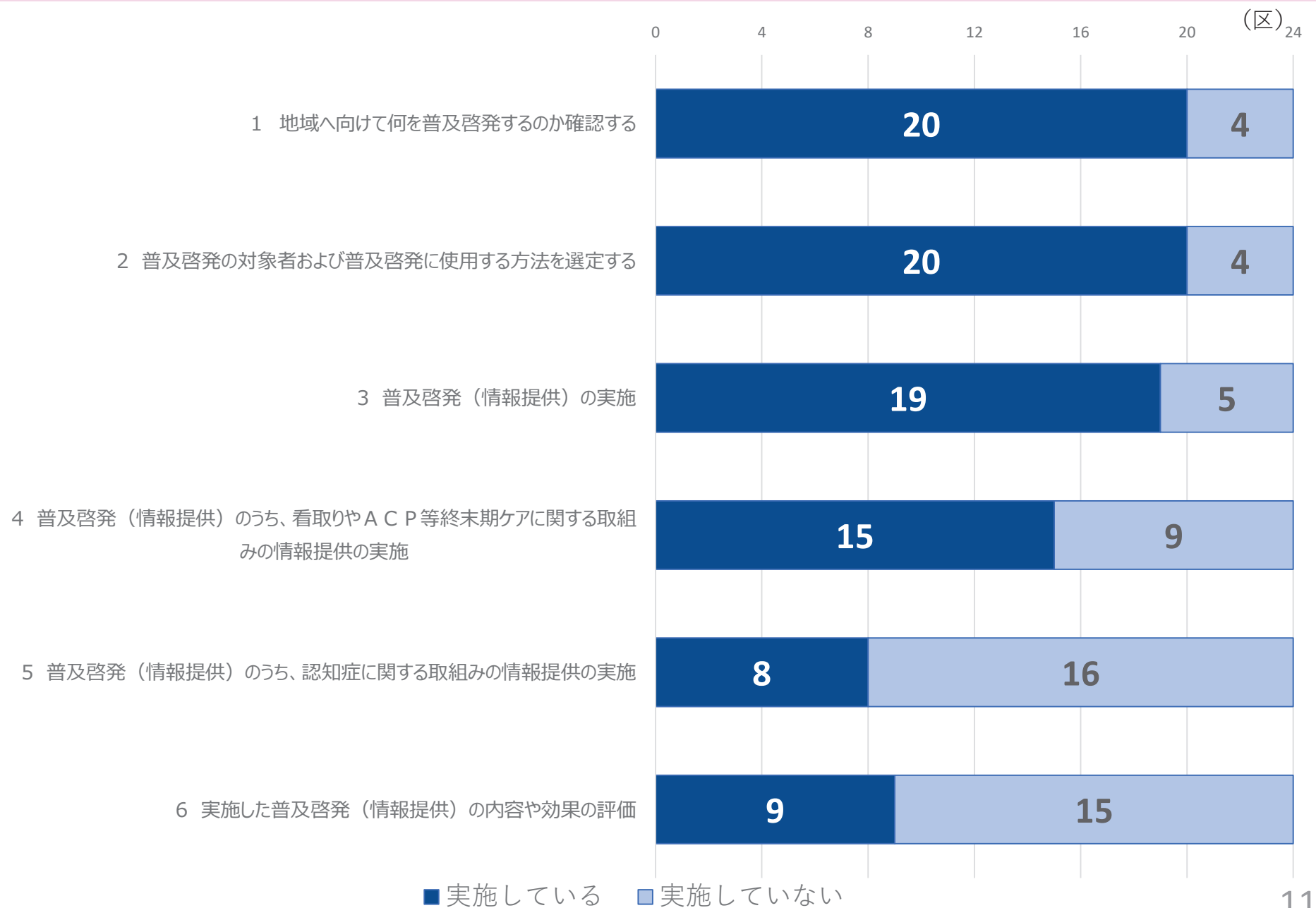
## 研修テーマ

ACP	・リスク選択時代のACP・共同意思決定
	・ACPを考える
	・私のメッセージ～今後の生き方～
認知症	・認知症のための事例検討
	・BPSD（行動・心理症状）を極める
新型コロナ ウイルス感染症 関連	・在宅介護の現場における新型コロナウイルス感染症対策
	・グループホームで新型コロナウイルス感染症が発生したらどうしますか
	・職種で考える新型コロナウイルス感染症流行時における高齢者の支援について
	・新型コロナウイルス感染症に関する講演会およびコロナ禍での多職種連携
	・新型コロナウイルス感染症対策について情報共有および、緊急事態宣言下での連携を考えるをテーマにしたグループワーク
その他	・一つの家庭におけるケアマネジャーと相談員の連携について
	・介護保険法改正ポイント

### 【研修テーマ】

ACPを取り入れた区：7区、認知症を取り入れた区：6区

## (キ) 地域住民への普及啓発 対応策の実施 その1



# (キ) 地域住民への普及啓発 対応策の実施 その2

講演会など

ACP	・終末期・人生会議について
	・ACPを考える
	・『もしバナゲーム』を活用した学習会

認知症	・認知症・在宅医療シンポジウム
-----	-----------------

その他	・感染予防
-----	-------

広報紙・ホームページ

広報紙、ホームページを活用：11区  
うち動画（リンク先）をホームページに掲載：2区

**人生会議編**

“もしも”の時、あなたはどのような人生の最期を望みますか？最期を迎える時、家族はどうすれば良いのか、人生会議のやり取りをご覧ください。



QRコードにアクセスして動画を視聴できます



に～よん劇場  
人生会議編

11区 ひがしよどがわ

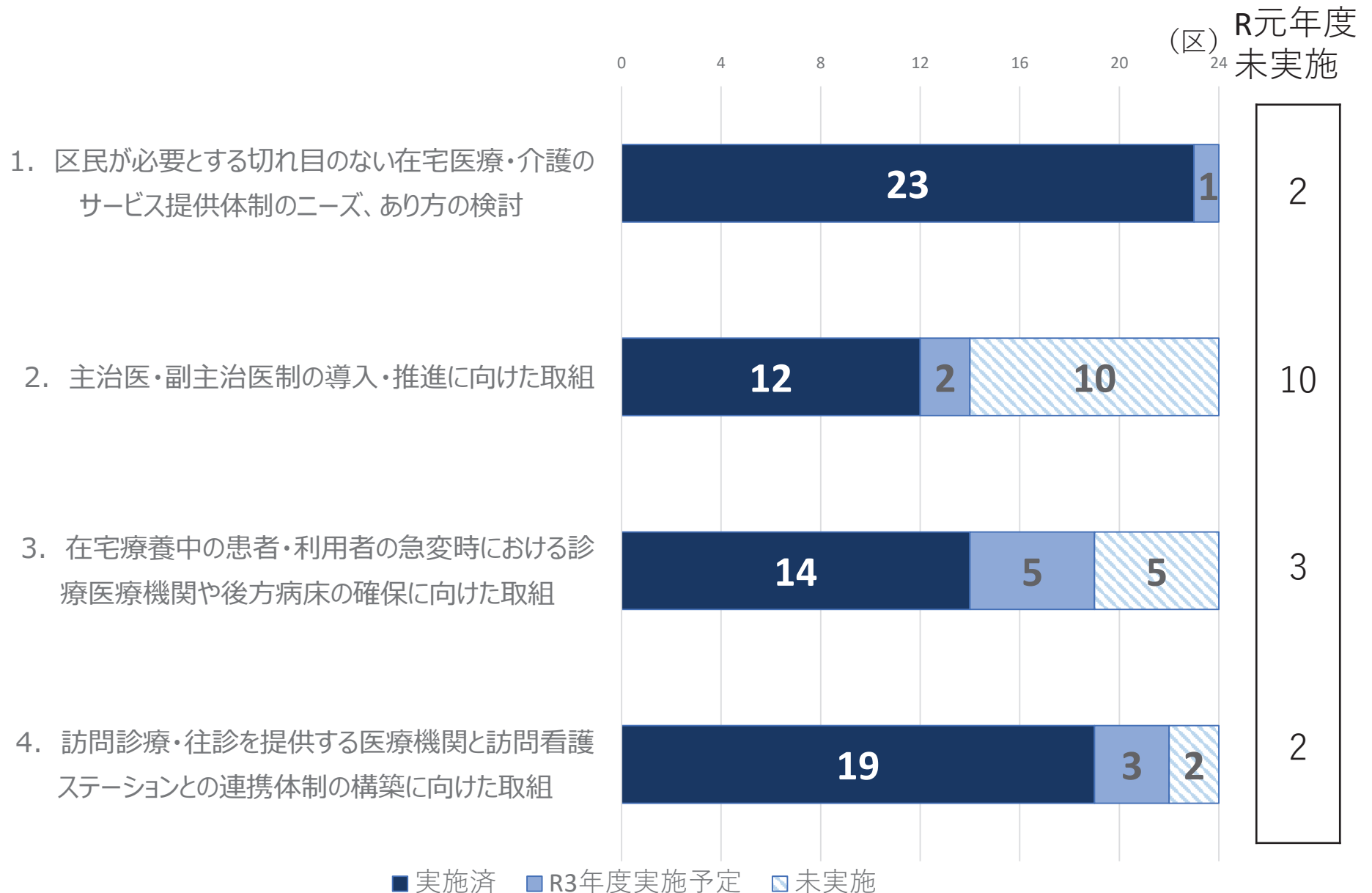
人生会議

2区 みなと

医療と介護であんしん生活!

在宅医療をサポートするサービス

# (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 対応策の実施



## 【場面ごとの取組み例】

### 入退院支援

- ・新型コロナウイルス感染の拡大により、退院前カンファレンスの開催がない、面会制限もあり、入院中の患者の経過や退院時の状況を把握できずに退院に至るケースが増加した
  - ➔ 病院窓口一覧の活用、オンラインカンファレンスの開催、多職種研修会で相互理解を深める

### 日常生活療養（緊急時含む）

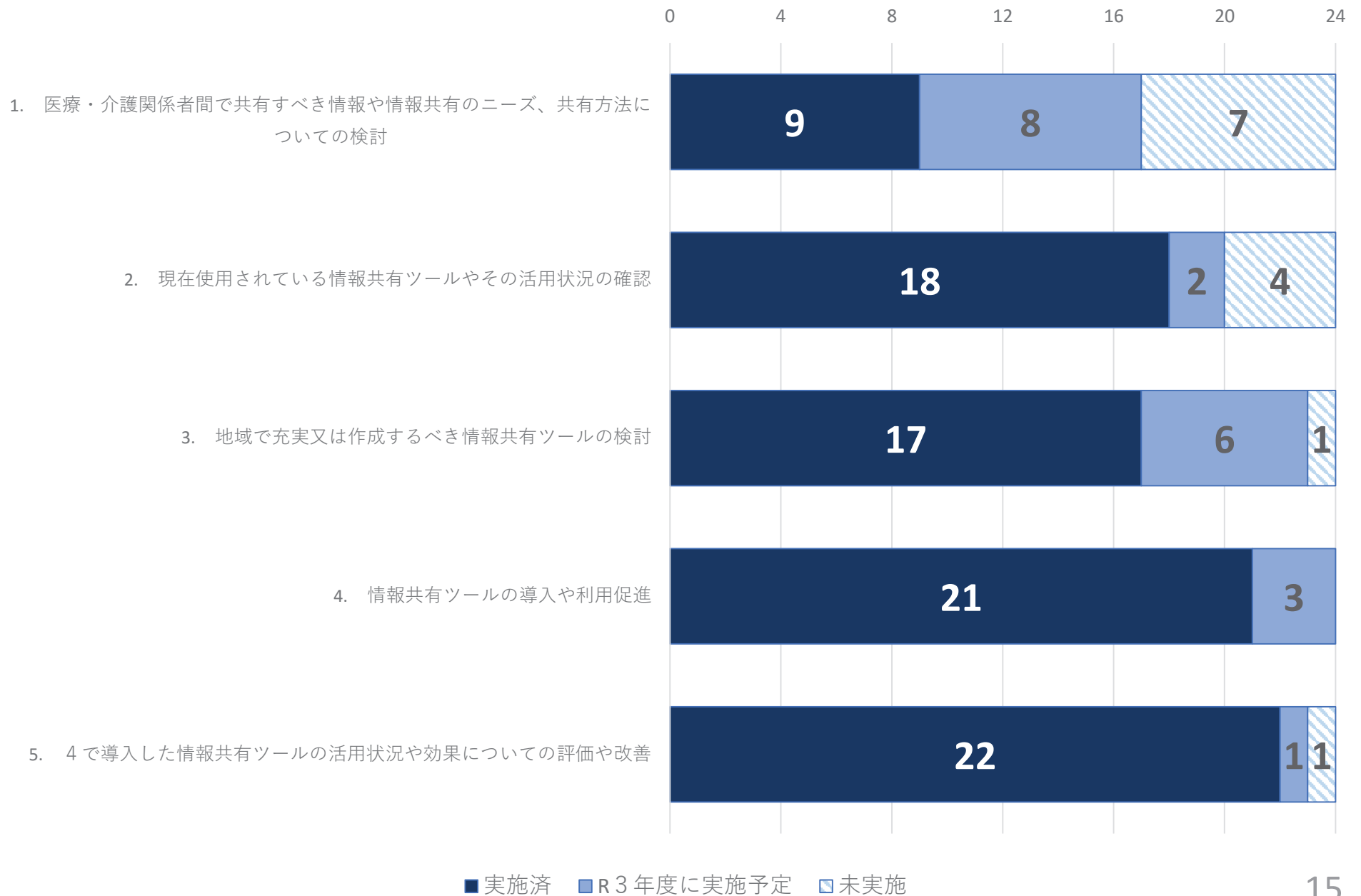
- ・様々な問題を抱えるケース（独居、身寄りがいない、認知症、精神疾患等）が増加した
  - ➔ 多職種が参加する事例検討会の開催を検討
- ・退院後すぐに窒息や誤嚥性肺炎の再燃で再入院となる
  - ➔ 食支援チームの立ち上げ
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、在宅医療や介護の担い手の疲労、ストレスが大きくなった
- ・様々な情報があふれ、その情報に振り回された
  - ➔ 正しい知識の情報発信、研修会を実施
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、多機関との連携がしづらくなった
  - ➔ オンラインの活用

### 看取り

- ・看取りまで行う医師が少ないが、ニーズは増加している
- ・病院勤務者は在宅医療に関する知識が乏しい
  - ➔ ACPをテーマにした多職種研修会の開催、区広報紙等を活用した区民向けの啓発

## (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(区)

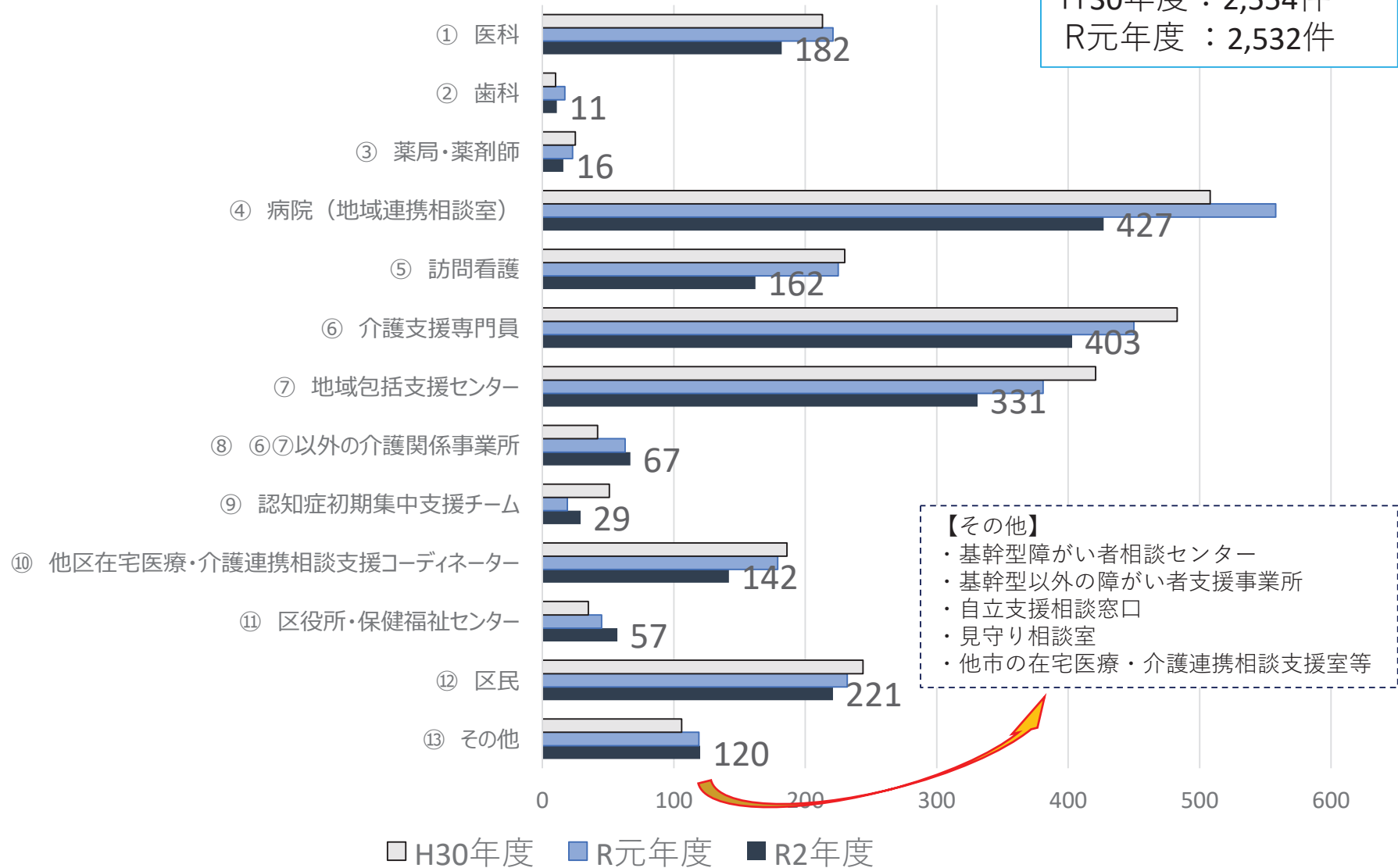




# (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 対応策の実施

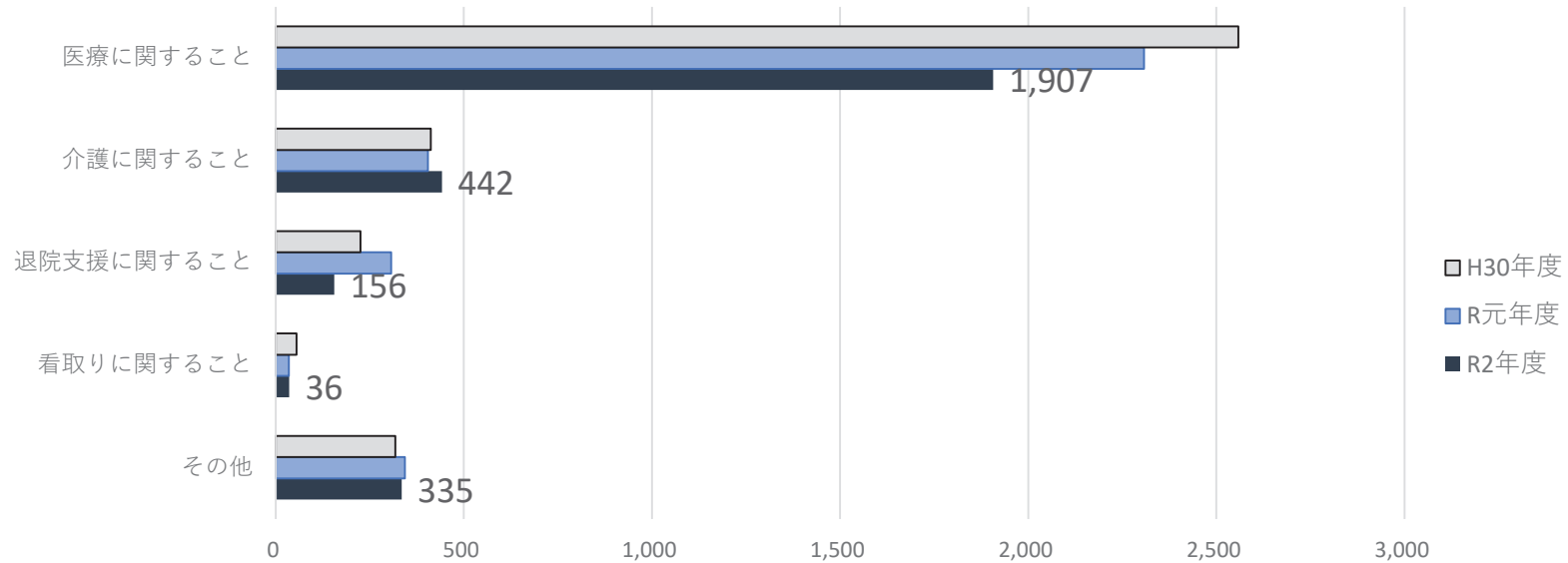
個別ケース相談（相談者別内訳） 相談件数 2,168件

【相談件数】  
H30年度：2,554件  
R元年度：2,532件

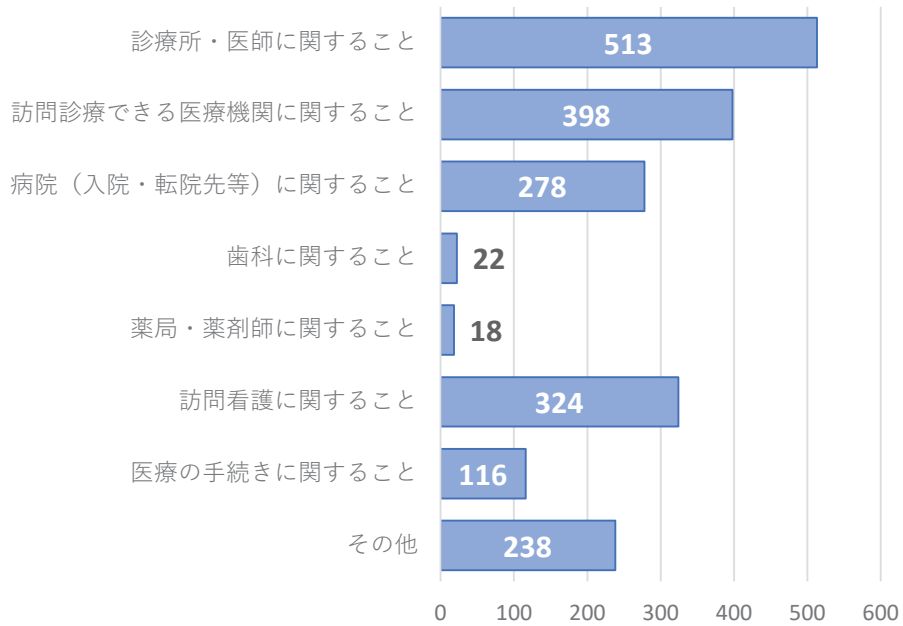


病院（地域医療連携室）、介護支援専門員、地域包括支援センターからの相談が多い

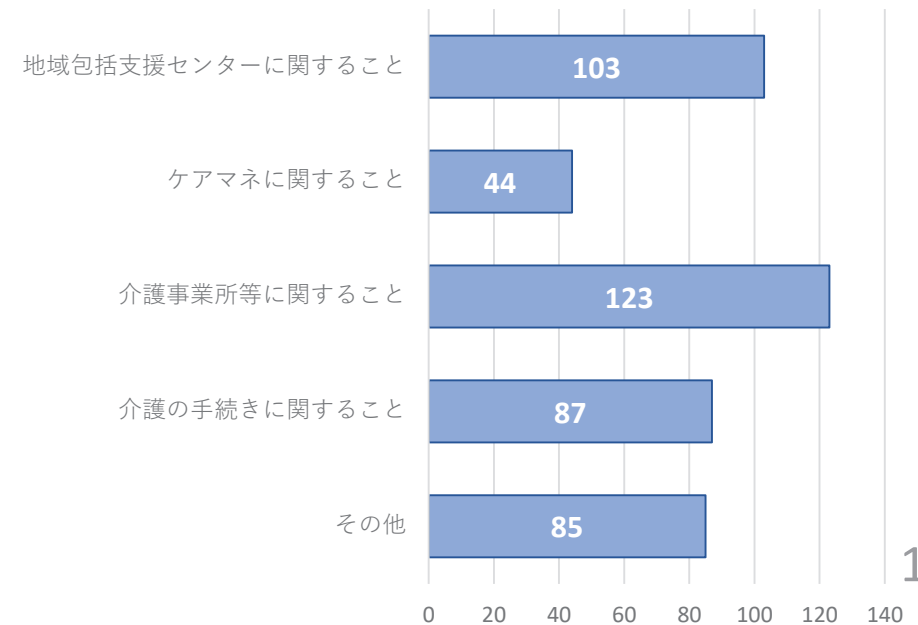
## 個別ケース相談（相談内容別内訳：複数回答）



### 【医療に関すること（内訳）】



### 【介護に関すること（内訳）】



会議・研修会等への参加

		H30年度	R元年度	R2年度
会議出席回数		2,012	2,120	579
内 訳	市・区の会議、研修会	721	727	186
	関係機関との会議、研修会	1,291	1,393	393
	(再掲) 地域ケア会議	196	144	42